



とん や まち
**新4号国道問屋町交差点の立体部が
1月20日に開通します**

— 記者発表資料 —

宇都宮国道事務所では、新4号国道などの渋滞を緩和するために、問屋町交差点（市道352号と交差）の立体化工事を実施しています。このたび、立体化工事が完了し、1月20日（水）正午に新4号国道問屋町交差点の立体部が開通します。

開通に伴い、これまでと通行形態が変わりますのでお知らせします。

【開通日時】 **平成22年1月20日（水）正午**

【開通区間】 **新4号国道 問屋町交差点の立体部**
（栃木県宇都宮市石井地先）

立体部：4車線（片側2車線）

側道部：2車線（片側1車線）

※問屋町立体と久部高架橋が連結されるため、新4号国道を利用し、問屋町交差点、久部交差点を右左折する際は、立体に入らず、手前から側道を利用して下さい。

※開通にともない、一時的な通行規制をおこないます。

※問屋町交差点では、最大600m（H21.12月調査）の渋滞が発生しており、交差点の立体化により渋滞の緩和が期待されます。

平成21年12月24日（木）

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者会、
栃木県県政記者クラブ、宇都宮市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所

電話 028-638-2181（代表）

副所長 はやの早野 ひでと英人 計画課長 あくつ阿久津 やすのり保則

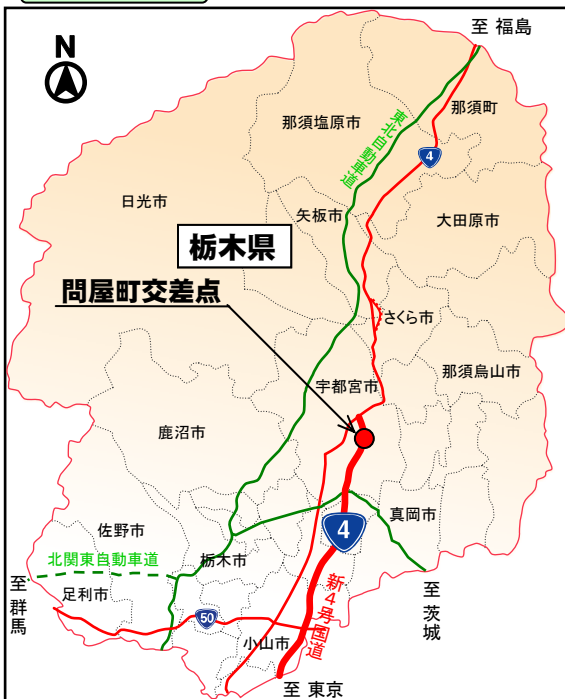
新4号国道 問屋町交差点の概要

問屋町交差点は、新4号国道と宇都宮市道352号との平面交差点で、朝夕の通勤時間帯などに宇都宮市内に向かう交通や通過する交通が集中し、著しい交通混雑が発生しています。

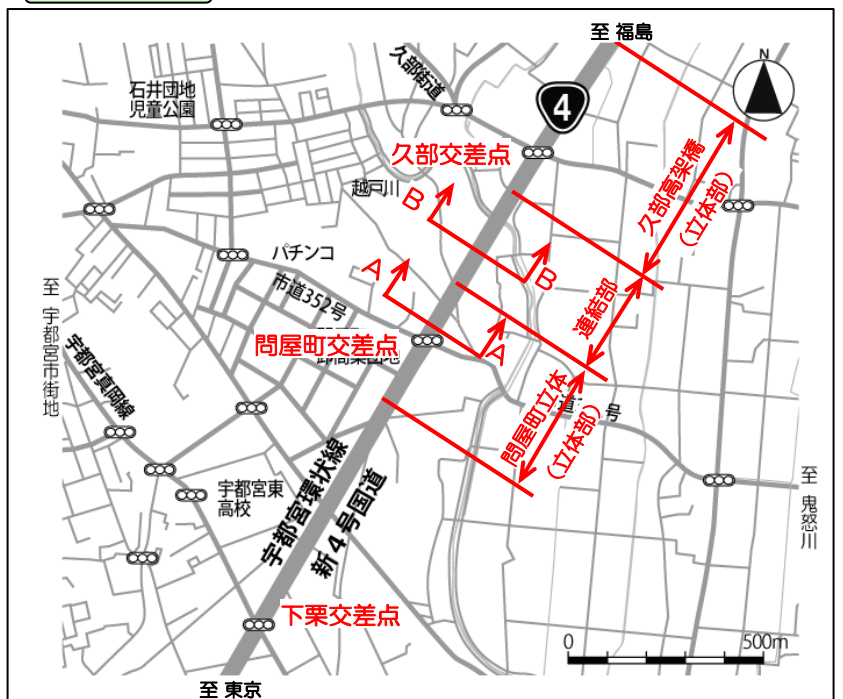
本事業は、問屋町交差点を立体化することにより交通渋滞を緩和し、円滑な交通の確保を図ることを目的とした事業です。

問屋町交差点の立体化によって、今までの通行形態が変更になりますのでご注意ください。

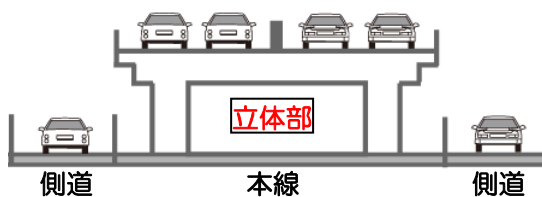
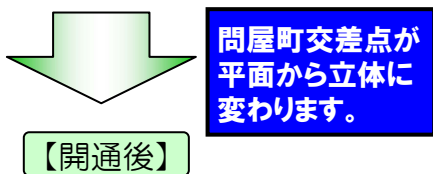
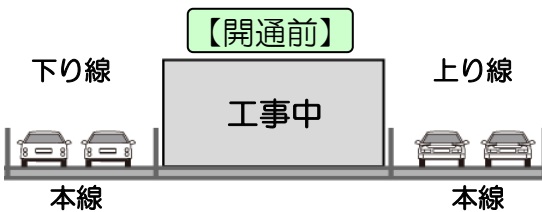
位置図



詳細図

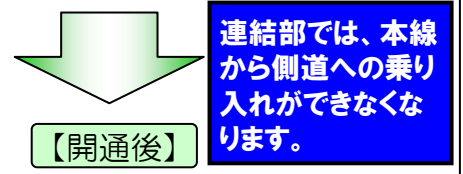
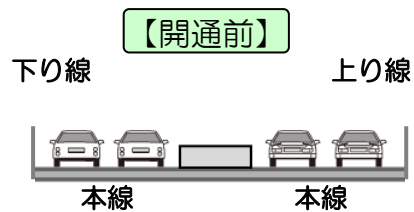


立体部 (A-A断面図)



※新4号を直進される方は、立体部をご利用願います。

立体連結部 (B-B断面図)

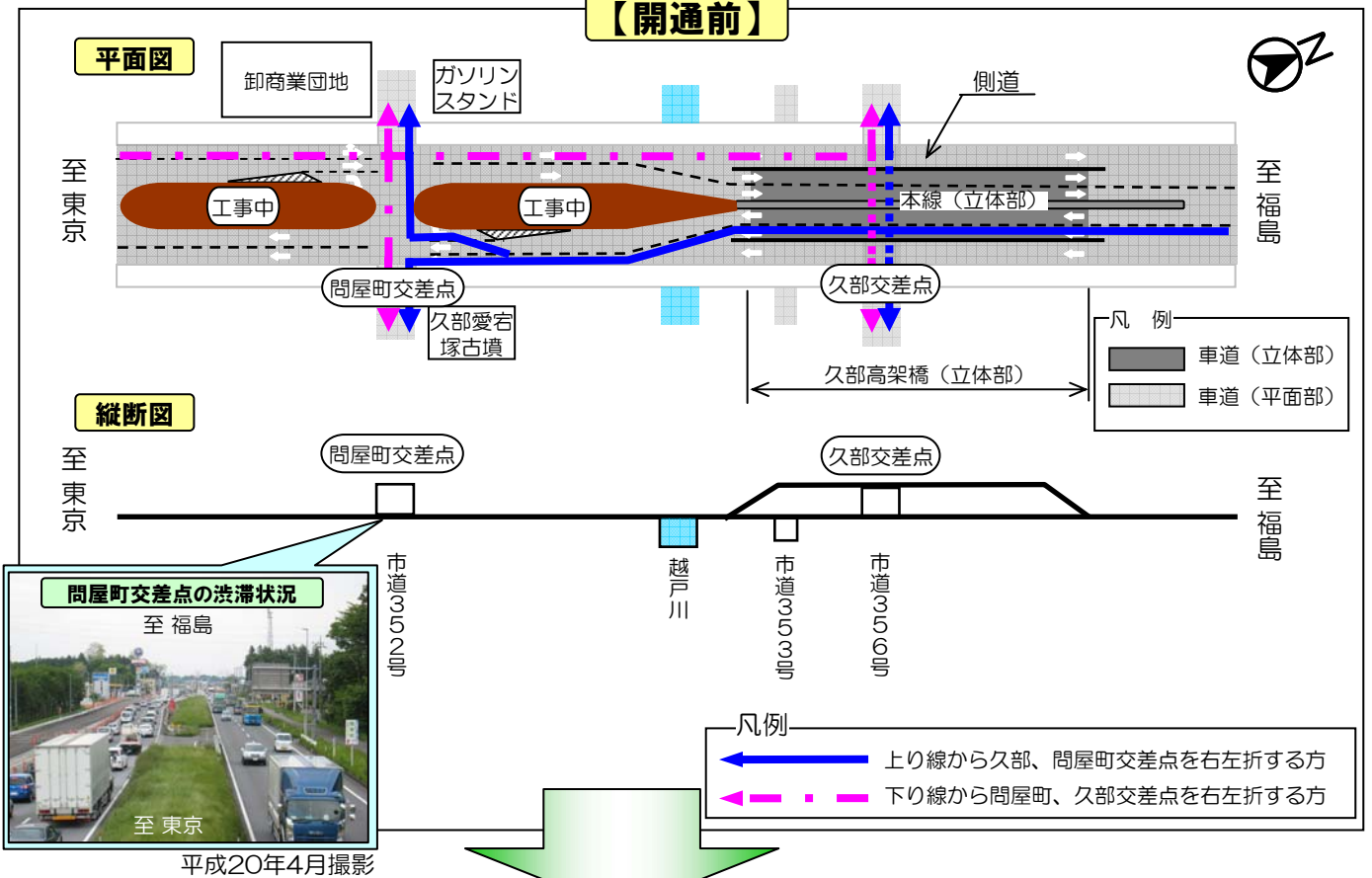


※問屋町、久部交差点を右左折したい方は、側道をご利用願います。

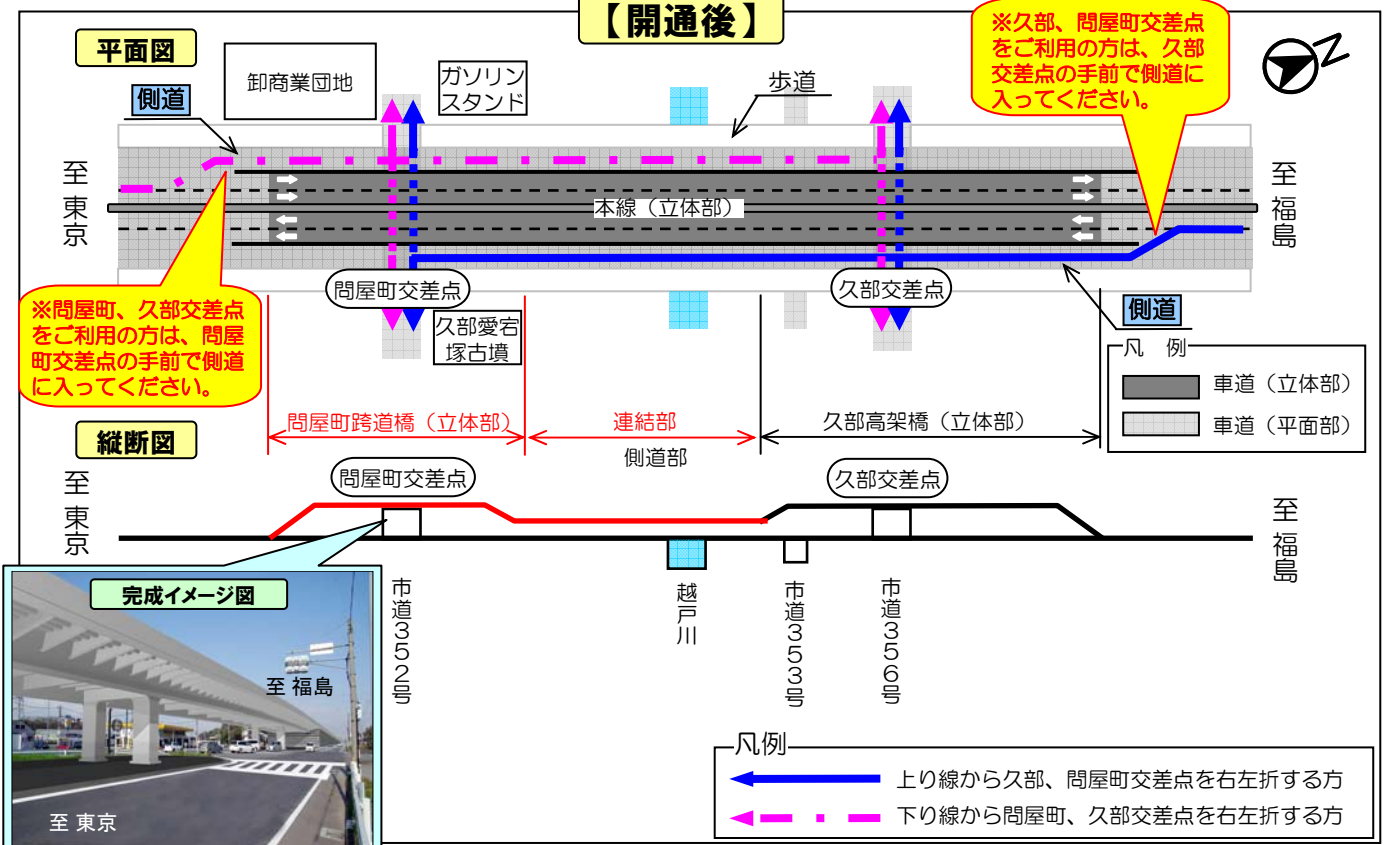
問屋町交差点と久部交差点の通行形態が変わります。

問屋町立体と久部高架橋が連結されるため、新4号国道を利用し、問屋町交差点、久部交差点を右左折する際は、問屋町立体・久部高架橋に入らず、手前から側道を利用して下さい。

【開通前】



【開通後】



問屋町交差点の立体化による整備効果について

問屋町立体は、『国道4号石橋宇都宮バイパス』の一部を担う事業です。

『国道4号石橋宇都宮バイパス』は、宇都宮市周辺地域の渋滞緩和や交通安全の確保、地域産業の振興を目的としたバイパス事業です。

区 間 : 自) 栃木県河内郡上三川町下蒲生
至) 栃木県宇都宮市平出工業団地

延 長 : 18.7km

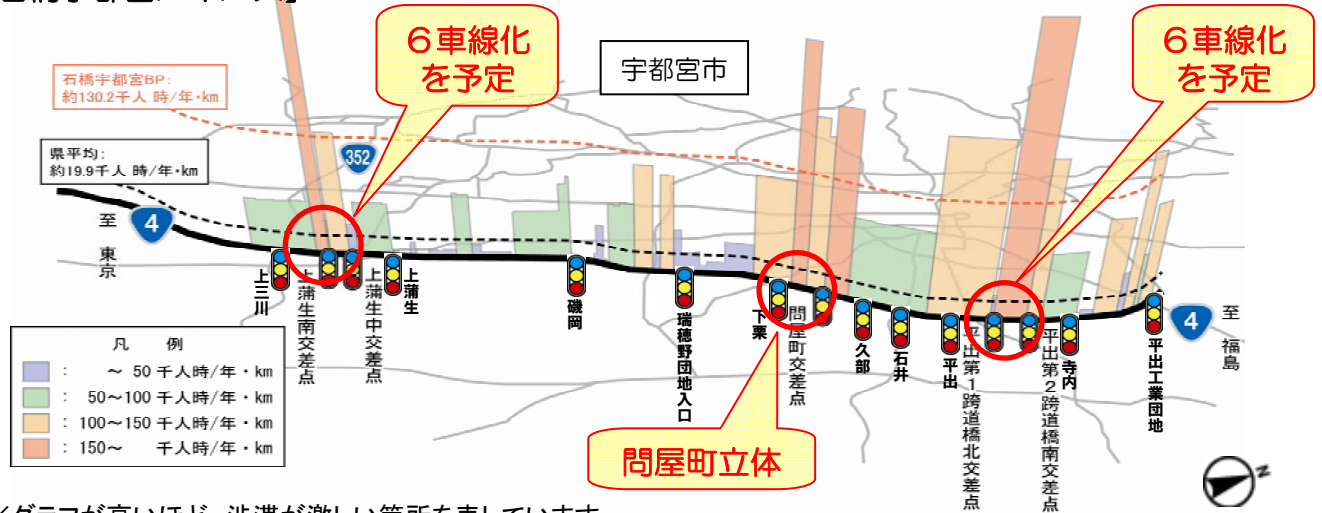
車線数 : 6車線 (片側3車線)・・・全体の約9割が6車線で完成

【渋滞緩和】

新4号国道では、問屋町交差点や上蒲生・平出地区などで、渋滞が発生しています。問屋町交差点では、**最大600m (H21.12調査)**の渋滞が発生しています。渋滞対策として、交差点の立体化(問屋町)や6車線化(平出・上蒲生地区)に向けた整備を行うことにより、**渋滞の緩和**が期待されます。

【石橋宇都宮バイパス】

平成20年度走行調査データ



※グラフが高いほど、渋滞が激しい箇所を表しています。

【地域産業の振興】

石橋宇都宮バイパスの周辺には、多くの工業団地や流通拠点が立地し、地域産業の振興に寄与しています。

●工業団地

団地名	総面積(ha)	分譲開始
芳賀高根沢工業団地	226.4ha	S52
宇都宮テクノポリスセンター	177.2ha	H17
平出工業団地	304.1ha	S37
芳賀工業団地	248.4ha	S63
宇都宮清原工業団地	387.6ha	S49
瑞穂野工業団地	30.2ha	S52
インターパーク宇都宮南	137.5ha	H13
日産自動車	292.2ha	S43
石橋第一工業団地	8.7ha	S37
石橋第二工業団地	11.7ha	S40

平出工業団地



インターパーク宇都宮南

